



本が読める日常を大切に。冬本番。あったか〜い図書館で、1年をしめくくる素敵な本と出会ってください

図書館だより

令和5年12月号 京都市立北野中学校 図書館

学校司書 坪井 真穂

図書館からお知らせ

冬休み前の特別貸出について
貸出期間…12/7 (木) ~12/22 (金)

懇談期間中は司書のいる水・金のみ開館します。

貸出冊数：5冊まで 返却期限：1月5日 (金)

12/22(金)は学級文庫の回収日

紛失本が出ないよう、本は毎回学級文庫へ戻すこと！

文図委員は毎週金曜に点検を行い、

22日(大掃除前)に点検表と学級文庫を図書館へ

※点検表の担任確認(サイン)も忘れずお願いします

文化図書委員会より

冬休み前の特別貸出があるので、この機会にぜひ借ってください。
もし、本の返却場所が分からなかったら、委員または司書に聞いて下さい。



ミステリと言う勿れ 前・後編

豊田美加/著 田村由美/原作
生徒リクエスト。ドラマシリーズのノバライズ本です。映画を見た人はぜひ原作シリーズもお読みください。

12月の新着本



多分そいつ、今ごろパフェとか食べてるよ〜**続 孤独も悪くない編** Jam著
友だちがいるのに寂しい、どこにも居場所がない、ちょっとしたことで落ち込む…。孤独や不安な気持ちと上手に付き合う68の考え方を、ネコの4コママンガがやさしくあなたに教えてくれます。人に話せない悩みは本が解決してくれるかも。



ソルネ〜風舞高校弓道部〜

綾野ことこ/著
生徒リクエスト。アニメの文庫本。高校で弓道がしたくなる?!そんな青春ストーリー。



古事記

地図と写真でよくわかる! 古事記
山本明【著】
日本の古代と現代をリンクしながら読める本。全国の古代探検ガイドとして読んでおもしろいです。



絵師で彩る世界の民族衣装図鑑
えんびつ倶楽部【編】
アニメ、イラストの素材集として使えます。



マンガでやさしくわかる中学生・高校生のための手帳の使い方

忘れ物や提出物の遅れが減る! 先を見て行動できるようになる! 規則正しい生活ができる! 新しいこと始めた人は手帳を使うことから始めてみませんか?



世界の科学者図鑑

アンドルー・ロビンソン/著
今の世界はこの人達がいたから存在しているといっても過言ではない。世界の科学者たちの功績とどんな人物だったかが合わせて読める図鑑。



アナログ

ビートたけし/著
10月に二宮和成・波瑠主演で映画公開された小説。ビートたけしで出版した小説らしく、いろんな意味で昭和感が漂う恋愛小説です。



わくわく発見!世界の民族衣装
竹永 絵里【画】
それぞれの土地の伝統や歴史の中で生まれた民族衣装。世界中の民族衣装をかわいいうイラストで紹介。

12月 は 人権 月 間

1948年、国連で「世界人権宣言」が採択された日が12月10日。

この日を「人権デー」とし、世界中で

「Human Rights」(人が人として当たり前生きられる権利)をみんなが考える日にしました。

『人権(じんけん)』って、なんだ?

人が生まれながらにして持っている権利。それが人権。それは言い換えれば、『人が幸せに生きていくための権利』でもあるのに、今まさにウクライナパレスチナでは「戦争」という「暴力」によって人権が奪われ、偏見や差別、ヘイト(憎しみ)の連鎖が世界に広がりを見せています。新しい年が今よりも少しでも幸せな世界になりますように…。あなたとあなたのまわりの人の人権が守られますように…。みんなに知ってもらえますように、考えてもらえるように…。今年は「戦争」が続く、ウクライナとパレスチナの本も含めて展示しました。いろんな切り口の人権の本を展示中です。「無関心と無知」が世界を不幸にすると何かの本で読んだことがあります。まずは「知ること」からはじめましょう。

- ①女子も!男子も!生理を知らず①②③ 宋美玄/監修
- ②生理前あるあるPMDDって何? 中安紀子/著
- ③女子のうつ PMSがラクになる本 西村留美/著
- ④生理前につらくなる私 みたありさ/著

生理前になると、いらいらや無気力などつらいと感じる症状に悩まされることはありませんか。中高生から対処方法を知っていれば、今より気が楽になることも。自分のカラダのことを知りたい女子に届けた本。

2年生の平和学習でお話を聞いた服部欧右先生の本です



先月、2年生は元京都市教員でルワンダの学校を支援する会の服部欧右先生からお話を聞き、1990年代に起こったルワンダ・ジェノサイド(集団虐殺)を元に、戦争はなぜ起こるのか、その時人は何を思うのか?平和の実現のために自分ができることは何か、「自分の頭で考える」ことの大切さを学んだのではないのでしょうか。被害者(生存者)の証言(左側)と加害者の証言(中央)に分けて翻訳出版された2冊の本は中学生が読むには覚悟がいる本です。しかし、加害者編が西京高校の生徒と一緒に翻訳された経緯からも、若い世代の人たちこそ目を背けずに真実を知ってほしいという先生の思いがこれら本には込められているように感じます。その後のルワンダがどうなったのか?和解への道編(右側)もぜひ読んでみてください。